

ダウンロード特典

研究室ホームページ 改善のヒント🔍



ホームページを改善するうえで、何を大切にすべきでしょうか？

このPDFは弊社のWEBサイト制作実績や調査から、研究室ホームページで重要と思う点をまとめた資料です。全ての研究室にはあてはまらないかもしれませんが、本資料が少しでも貴研究室のリニューアルの際のヒントとなれば幸いです。

あなたの研究室のホームページも当てはまる？

よくある「困った・疑問」の例

HPはあるが
存在意義が
はっきりしない。
ただあるだけ。

大量の情報が
載っているが、
どこに何があるか
わかりにくい。

文字ばかりが
並んでいる、
どうすれば
読みやすくなるの？

情報は載せているが、
ちゃんと見て
もらえているか
わからない。

絶対必要な
情報って何？

載せたい情報が
載せられていない。

見栄えが
洗練されて
いないように
感じる。

科研費等での
支払いは
可能だろうか？

忙しくて
HPの更新に
手が回らない。

WEBサイトを
プロに頼むと
いくらかかるのか
わからない。

そんな疑問にお答えします！

改善時に要チェック！

押さえるべき4つのポイント

1. 誰に伝えるか、まず相手を明確にする。
2. 必要な情報をしっかり載せる。
3. 見やすさを気に掛ける。
4. 古臭い、活気がない、と思わせない。

当たり前のようにホームページを持っていますが、大学の研究室のホームページには、一体何が求められているのでしょうか？

本資料では、絶対おさえるべき基本的なポイントを重要な順に4つお伝えします。

Point 1

誰に伝えるか、まず相手を明確にする

まずはじめにサイトを利用するユーザーがどのような方々で、どういった目的で利用しているかを考えてみましょう。大学研究室ホームページを訪れる人と目的は、一般的には下記3種類であると私たちは考えています。

- | | | |
|----|-------------|-----------------------------|
| 1. | 訪れる人 | 学部生、院生、ポスドク |
| | 目的 | 研究室選びの材料として研究内容・実績・雰囲気を知りたい |
- | | | |
|----|-------------|-------------------------------|
| 2. | 訪れる人 | 他大学や企業の研究者 |
| | 目的 | 研究内容・成果・進行中プロジェクトやメンバー詳細を知りたい |
- | | | |
|----|-------------|--------------------|
| 3. | 訪れる人 | 研究室在籍メンバー |
| | 目的 | 自分の研究成果・実績をアピールしたい |

まずはWEBで検索が当たり前になって久しい現在、研究室とユーザーとのファーストコンタクトがWEBサイトということも既に珍しくはありません。訪問者は、新しい優秀なメンバー候補生となりえる人達であり、新たな共同研究や在籍メンバーの躍進などへのチャンスにつながるかもしれない人達です。

彼ら訪問者が一体何を知りたがっているのか、ユーザの立場を想像してロールプレイしながらホームページを見直してみるだけでも、きっと多くの発見が得られるはずです。

※研究室の性質・研究内容によっては、上記以外の相手の想定も必要です。

Point 2

必要な情報をしっかり載せる

研究・教育機関である大学研究室の方々にとって、研究成果を世間に広くアウトリーチ活動していくことは、非常に求められている活動だと思います。

まずビジュアルや見栄えよりも、ホームページに必要な情報が載っていて、それが適切に更新されていることが最も大切です。更新頻度の最低限目安としては、1年前から更新がされていないホームページですと、おそらく訪問者を落胆させる可能性が高いです。

ホームページ制作は、手間とWEB関連の知識、そして時間のかかる作業のため、頑張ってホームページを作ったらそれで一段落してなかなか更新まで手が回らない状況もあるかと思いますが、ホームページはリリースしてからが本番で、常に情報を更新し続ける必要がある、と認識することが大切です。

そのためには更新しやすい種類のコンテンツを用意したり、複数人が更新できるようにするなど、更新が楽にできるよう最初から考慮するとよいでしょう。一般的に研究室サイトで発信される情報例は以下の通りです。

研究室ホームページで発信される主な情報

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ■ 研究内容 | ■ 論文、出版物 |
| ■ 研究成果／業績、活動報告 | ■ 設備紹介、写真ギャラリー |
| ■ 教員紹介、メンバー紹介、OB・OG紹介 | ■ 教育関連（講義、時間割など） |
| ■ イベント、お知らせ | ■ 問合せ先、アクセス |

Point 3

見やすさを気にかける

一番大切な部分であるコンテンツがしっかり準備できた後は、次のステップ「見やすさ・読みやすさ」を考えていきましょう。世の中の研究室ホームページでときどき見かける特徴として以下のものがあります。

- 文章が大量に並んでおり、余白もほとんど空いておらず読みにくい。
- 情報が分類されておらず、どこに何があるのかわからない。

体裁が原因でせっかくの内容を読んでももらえないのは、本当に残念でもったいないことです。デザインの問題は、ルールを適用することで改善が可能です。ホームページデザインにおける定石レイアウトや定石ナビゲーションをしっかりと踏まえて、以下のようなデザインルールを守ることによって、内容は圧倒的に伝わりやすくなります。

伝わりやすい情報のためのデザインルール

- 読みやすい文字サイズ、行間、フォントの組み合わせを使用する。
- 余白を意識的に用いて、情報のまとまりを作る。
- 適切な見出しを作り、文章にリズムを付ける。
- できる限り写真や図、イラストを用いてビジュアルで理解させる

専門的な研究を分かりやすく説明するのは至難の業ですが、基本的な体裁を見やすく整えることで、訪問者は余計なストレスなく内容自体により集中することができます。

Point 4

古臭い、活気がないと思わせない

さて最後の4つ目のポイント、見た目の格好良さについて少しご説明させてください。研究室のホームページが、まるでファッションやゲームのホームページのように、華やかでユニークで格好良くある必要はありません。しかし見た目があまりにも古臭くて前時代的のものであれば、そこにはマイナス印象が生じてしまいます。

例えば、ある研究室所属学生に興味を持った他大学の研究者が、その人の研究成果を調べるためにホームページを訪れたとします。

その時に十数年前のようなデザインのホームページに学生の名前だけが載っていたら、果たしてその学生は魅力的に写るでしょうか？情報が得られないばかりか、むしろ「活発に活動しておらず、学生にも意欲や活気がなさそう」のような印象すら与えてしまう可能性があります。

私たちは、研究室ホームページの見た目に必要なものは以下の2点だと考えます。

研究室ホームページに必要な雰囲気

1. 大学らしいアカデミックな品格
2. 今の主流に則した王道なデザイン

アカデミックな品格、これは大学という「業界」らしさを表現するため、訪問者に正しいところに来ているという安心感、信頼感を与えます。

今の主流に則した王道なデザイン、これはいわゆる「よくあるパターン」という事ですが、それを踏襲するメリットは大きいです。訪問者がなれているパターンなので、操作に迷いにくくスムーズに閲覧してもらえることにつながります。

mmjの 研究室ホームページプラン

ここまで研究室ホームページのポイントを簡単にお伝えしてきました。

mmjは多くの制作実績によって、大学研究室のホームページがどうあるべきか
今も常に模索を続けています。あなたの研究室のホームページでのアウトリーチ
活動・アピール活動を、少しだけ効果的・効率的にするお手伝いをさせてください。

ここからは大学研究室に特化したホームページのプランについての詳細です。

Point 1

分かりやすいページ構成

研究室ホームページプランは、4パターンご用意しています。
パターンごとに、予め作成するページが決まっていますので、そこに合わせて既存のホームページからデータを流し込んでいくだけで手軽にリニューアルが完成します。

1. 研究室紹介プラン (6ページ)

研究室の基本情報をシンプルに載せるプラン

2. 実績しっかり発信プラン (10ページ)

研究室の概要に加えて、実績をしっかり載せるプラン

3. オリジナルコンテンツプラン (13ページ)

実績しっかり発信プランに加え独自コンテンツも作成するプラン

4. フルオーダーメイドプラン (1ページ～)

デザインもコンテンツも全てご希望に合わせて作成するプラン

研究の内容や特性によっては、決まったパターンのページ構成では対応できない場合がありますが、オリジナルコンテンツプランやフルオーダーメイドプランを用意しておりますので、その場合は自由にコンテンツを入れ替えて作成が可能です。

※基本的なページ以外のデータの移行作業については別途お見積りとなります。ご了承ください。

Point 2

更新しやすいシステム

本研究室ホームページプランは全てWordPressというシステムを利用して構築します。WordPressは、オープンソースCMSで圧倒的なシェアを誇るデファクトスタンダードです。

WordPressの管理画面から、内容の更新やページの新規作成、写真やデータのアップロードなどほとんどの操作が行えますので、毎回HTMLを編集してFTP等でアップロード、といった手間は不要です。

全権を持つ管理者アカウントの他に、学生各自に限定アカウントを発行して自分のページだけを自由に更新してもらう、研究室メンバー紹介ページ用に専用の入力項目を用意して、項目に沿って入力するだけで簡単にメンバー登録が行える、など研究室WEBサイトに特化したカスタマイズがされています。



管理画面イメージ

Point 3

プロのデザインクオリティ

本研究室プランでは、あらかじめ大学研究室用に用意されたテンプレートを使用してデザインを作成します。

フォントの組み合わせや行間、文字詰め、見出しや余白など全てがしっかりと作りこまれたプロのクオリティで用意されていますので、デザインに悩む必要がありません。

テンプレートを使用していますが、メインとなるビジュアル部分のデザインはオリジナルで作成、またWEBサイトの配色を任意に変更することができるため、研究室の個性に合わせた印象を表現することができます。



Point 4

モバイル対応デザイン

大学の研究室内ではまだまだパソコンを使ってインターネットを見る機会が多いと思いますが、一般的なホームページではここ数年来スマートフォンなどのモバイルからのアクセスがPCを上回ることが多いです。またGoogle検索結果でもモバイル対応の有無はランキング順位に影響します。

本プランではレスポンシブWEBデザインという、あらゆる画面サイズに応じて自動的にレイアウトを調整する技術を使用して、スマートフォンからタブレット、パソコンまで幅広く対応しています。



Point 5

SSL対応、アクセス解析付き

SSL対応

主流ブラウザのアップデートに伴い今後ますます対応が必須となっていくSSL対応もプランに最初から含まれています。

ホームページのセキュリティ向上、訪問者の信頼感アップに繋がります。国立情報学研究所が教育機関向けに提供するUPKI 電子証明書発行サービスを利用可能です。

証明書発行の申請自体は研究室様にて行っていただきます。

※任意のSSL証明書会社を選択いただくことも可能です。

※証明書費用は各種証明書会社にお支払いが必要です。

アクセス解析

GoogleAnalyticsタグをホームページに設置します。

どれくらいの訪問者が来ているか、どのコンテンツを見られているか、などアクセス解析を見ることでホームページ運営のヒントが得られます。

※京都大学の他サイトでも複数の採用実績があり、またサイト上に必要な掲示を行うことで学内ポリシーに違反も致しません。

対応サーバ

京都大学情報環境機構が提供するホスティングサービス

(VMホスティングサービス、WEBホスティングサービス

WordPressパッケージ) のサーバ上での動作に対応しております。

なおWordPressの動作要件を満たしてさえいれば任意のサーバで運用が可能です。

※サーバホスティング料金は、各ホスティング会社に別途お支払いが必要です。

※独自ドメイン取得も必要に応じてご相談ください。

Point 6

明快・手頃な料金

必要なコンテンツを 一通り揃えたパッケージ料金

用途に合わせて必要と思われるコンテンツをパッケージにいたしました。
プラン料金のみでしっかりとしたホームページを制作いたします。
プランに含まれる内容につきましては次ページをご参照ください。

既製のデザインテーマ利用で 大幅コストダウン

今回使用するCMS『WordPress』の公式デザインテーマを
利用することで、デザイン費用を大幅に削減しています。

わかりやすい3つの料金プラン

主に必要と思われる用途別に3つのプランをご用意いたしました。



※弊社指定のデザインテーマをご利用いただくことで低価格を実現する料金プランです。

※各プラン+10万円で、高品質なWordPress.com公式デザインテーマの中から
好きなテーマをご指定いただけます。

※もちろん、コンテンツ、デザインともオリジナルで制作することもできます。
お気軽にご相談ください。

Point 7

各プランの内容

	研究室 紹介 プラン	実績しっかり 発信 プラン	オリジナル コンテンツ プラン
ページ			
トップページ (メインイメージ1枚含む)	○	○	○
メンバー一覧	○	○	○
メンバー詳細	—	○	○
研究内容	○	○	○
実績一覧	—	○	○
実績詳細	—	○	○
OB/OGの進路一覧	—	○	○
関連リンク	○	○	○
コンタクト&アクセス	○	○	○
プライバシーポリシー	○	○	○
オリジナルコンテンツ1	—	—	○
オリジナルコンテンツ2	—	—	○
オリジナルコンテンツ3	—	—	○
機能			
お知らせ更新機能	○	○	○
メンバー更新機能	○	○	○
研究内容更新機能	○	○	○
実績更新機能	—	○	○
OB/OGの進路更新機能	—	○	○
関連リンク更新機能	○	○	○
問い合わせフォーム	○	○	○
コンタクト情報&アクセス情報更新機能	○	○	○
google map 埋め込み	○	○	○
お知らせ→Twitter/Facebook連動	○	○	○
スマートフォン対応	○	○	○
アクセス解析 (Googleアナリティクス)	○	○	○

Point 8

科研費でのお支払いについて

科研費でお支払いいただけます

日本学術振興会Webサイトから参照できる
「科研費ハンドブック(10ページ)」によれば、
科研費を使用可能な項目として、以下のように挙げられています。

研究成果発表のための学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果、広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究成果広報活動などのアウトリーチ活動費用

参照元：日本学術振興会 科学研究費助成事業 科研費ハンドブック
http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/15_hand/data/h28/handbook_kenkyuusya.pdf

必要な書類をご用意いたします

見積書、納品書、請求書をはじめ、仕様書や完了報告書、Webサイトデータ一式など、お支払い時に必要な書類をすべてをご用意いたします。

科研費でのお支払いによる 制作実績がございます

貴学とは20年来のお付き合いがあり、多数の制作実績がございます。
科研費でのお支払いによる制作の実績も含まれており、
安心してお任せいただけます。

その他、柔軟に対応いたします

科研費でのお支払いについて、その他ご要望がございましたら
お気軽にお申し付けください。柔軟に対応いたします。

mmjの
システム・WEBサイト
制作実績

Portfolio

人間・環境学研究所 総合人間学部

<https://www.h.kyoto-u.ac.jp/>

制作時期：2015年

人間・環境学研究所 総合人間学部の公式WEBサイトのリニューアル制作を担当いたしました。

旧サイトからのリニューアルにあたり、大量のコンテンツを分かりやすく構成する事を重要視して、ご担当者様と細かいお打合せを重ねながらナビゲーションの見直しを行っています。またサイトマスターの方に自由度の高い更新・運用を行っていただけるよう、管理画面側のカスタマイズにも力を入れて行いました。



Portfolio

文学研究科 社会学研究室

<http://www.socio.kyoto-u.ac.jp/>

制作時期：2013年

研究内容と成果をもっと積極的に発信していくこと、また大学院生の募集をすることを目的に更新しやすいWEBサイトを。というご要望で制作させていただきました。

研究室らしいアカデミックで堅実な雰囲気と、社会学の研究という事で多面的な要素を感じさせるデザインを作成いたしました。

WordPressを利用して作成、詳細な成果発表を含めた研究室メンバー紹介をはじめ、研究成果や教育内容の発信など、今もしっかりと継続的に情報発信を続けていただいています。英語版も作成。



Portfolio

古地震研究会

<http://kozisin.info/>

制作時期：2015～2016年

京都大学の有志からなる古地震研究会様のWebサイトを制作いたしました。
活動内容の発信、研究内容および研究成果の発信、メンバー紹介といった、“研究会について知ってもらう”という基本的なことを大切にしたコンテンツ構成となっています。将来的には、関連するツールやサービスをつなぐハブの役割も担うことを想定しています。

また、もうひとつのミッションとして、“新しいメンバーの獲得”があります。
より間口を広げ、幅広い層にアピールできるよう、スペースを広く使い、写真や動きを多く用いることで、難しそうな印象を与えないよう心がけました。

WordPressを用いて制作しており、各コンテンツは管理画面から簡単に更新することができます。



Portfolio

国際高等教育院

<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>

制作時期：2013年

全学共通教育に関する情報発信のためのWEBサイト新規開設を担当させていただきました。

主な利用者は1, 2回生、特に新入生をターゲットとしており、大学のことを何もわからない状態からでも理解しやすいページ構成で設計いたしました。メッセージをしっかりと受け取ってほしいという想いを受け、読みやすさを重視したシンプルなデザインで作成いたしました。英語版も制作。



Portfolio

京都大学国際交流サービスオフィス

<https://kuiso.oc.kyoto-u.ac.jp/>

制作時期：2015年～現在

京都大学に在籍する外国人研究者や留学生、またその受け入れ教員に向けた情報を提供するWEBサイトです。日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語の5言語に対応しています。

WEBサイトリニューアル後、使いやすくなったとの声を京都大学国際交流サービスオフィスのご担当者様をはじめ、閲覧者の方からも頂いています。WEBサイトだけではなくサービスオフィス様での業務効率化をサポートするシステム開発を担当しています。

京都大学国際交流サービスオフィス

HOME ビザについて 住まいについて 日本での生活 資料・刊行物

国際交流会館等 入居申請について

対象	抽選受付	抽選申込	抽選結果
外国人研究者の方が対象です。	2016年12月～2017年1月2月3月入居開始分	2016年11月1日(火)～2016年11月15日(水) 15:00	2016年11月24日(木)
			メールで受入教職員に結果をお知らせします。

2016年7月より、オンラインシステムによる外国人研究者向け国際交流会館入居申請が始まりました。

CONTACT US

TEL: 075-753-2245, 5412 (電話に関すること)
075-753-7614 (国際交流会館・学生会館に関すること)
075-753-5682 (その他)
FAX: 075-753-4544
E-mail: info-serv@www.adm.kyoto-u.ac.jp (電話に関すること)
info-apply@www.adm.kyoto-u.ac.jp (国際交流会館・学生会館に関すること)
kuiso@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (その他)

京都大学国際交流サービスオフィス

ご質問・お問い合わせは
こちらから



メディアマックスジャパン株式会社

050-5318-4810 web-info@mmj.ne.jp